

友の会だより

No.80

2026.10

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

THE HEADLINERS 2026 キュン発力の時代

会期：2026年10月10日(土)～12月13日(日)
会場：茨城県陶芸美術館 地下1階 企画展示室
主催：茨城県陶芸美術館
助成：芸術文化振興基金
後援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送

ときめく心が時代をつくる！茨城県陶芸美術館が、いま注目する陶芸作家に光を当てる「THE HEADLINERS」第3弾。今年は14名の作品が集い、架空の動物のフィギュア、巨大なオブジェ、ランダムに光が透ける器など、多様な陶芸の表現が響き合います。SNSなどで情報があふれる時代には、軽やかな感性で「いいね！」を発見する“キュン発力”が欠かせません。美術館で現代陶芸に出会い、ときめきを見つけていただけたら幸いです。



塩澤 宏信
鳥賊耳になりました
2025年 個人蔵



小平 健一
Birds
2026年 個人蔵(5点)



大和田 友香
うつろい
2022年 茨城県陶芸美術館蔵



西久松 友花
Anabiosis
2026年 個人蔵

● 展覧会関連催事のご案内

* 詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

● 出品作家によるアーティストトーク (予約不要)

小平健一 × 塩澤宏信 × 波多野祐希 × フクモ陶器 [進行：芦刈歩 (当館学芸員)]

日時：11月8日(日) 13:30～

会場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料 (要企画展観覧料)

● 出品作家によるワークショップ (要予約・抽選)

大槻智子「栗・くり・オーナメントづくり。」

日時：11月28日(土) 午前の部 10:00～12:00 / 午後の部 14:00～16:00 (各回定員20名)

会場：当館地下1階 研修室

参加費：1,500円 (要企画展観覧料)

予約方法：当館ウェブサイトからお申し込みください [受付期間：10月10日(土)～11月3日(火)]

(当館ウェブサイト)



茨城県陶芸美術館ホームページ <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

「異国の地に根をはって」

李志杰氏

対談は笠間市大田町にある工房で、奥様も一緒に和やかな雰囲気で行われました。



ご出身はどちらですか

中国（山西省大同市）生まれです。

陶芸の道に進まれた経緯について

まず、自分の出身大学から話さなければいけないのですが、私は景德鎮陶磁大学を卒業しました。こう言うと大部分の人たちは、大学時代から陶磁器を専門に学んだ人ですねと言われます。これが大きな誤解で、景德鎮の陶磁大学と言うと、陶磁器研究専門の大学と思われてしまうのですが（もちろん陶磁器関係の学部はありますが）、普通の総合大学です。そこで、私は陶磁器とは関係のないプロダクトデザインを専攻していました。ですから、どちらかという造形に関心があったわけで、大学時代はほとんど陶磁器づくりの勉強はしませんでした。卒業に際して、日本に行ってみいたいという気持ちが強くなり、日本に来て日本語学校で勉強しているときに、陶芸大学校の募集要項を見て、笠間で勉強することにしたのです。

作品作りについて

先ほどお話したように、私はデザインを専攻していたこともあって、器づくりは最初に「カタチ」をイメージしてから作ります。具体的には、まず器のデザインを図面に起こし、そこから立体化していきます。そして、全体的なバランスなども考えながらカタチに変化をつけながら作品を作っていきます。

また、昔の作品を見ることも好きで、古い作品の中で「これは美しいな」と感じるところを探し出して、自分なりにアレンジして作品に取り入れることもあります。うまく言葉では言い表せませんが、昔から残っている美しいカタチには必ず理由があるはずです。そうした、先人から伝わってきた美しいカタチを学び、自分の感覚を加えて、今の時代に受け入れられる新しいカタチを創っていきたいと思っています。



今後どんなことをやりたいか

最近では、自分の作品を見るたびに、「今一つ、何か足りないな」と感じています。作品の制作時は、カタチやバランスについて、自分なりに納得しているのですが、後から見ると、何かもの足りなさを感じてしまうのです。これからはもう少し先を見据えて、自分らしいカタチを追求し、見てくれた人の心に残るような作品を創りたいと思います。

また、これまでは器づくりが中心だったので、オブジェを本格的に作ったことがありません。器とは違った大きさや形、空間との関係に興味があるので、これからはオブジェの制作にも挑戦してみたいと考えています。

焼き物は本当に奥深いものだと感じています。そのため、自分はまだまだ勉強しなければならないことがたくさんあることも実感しています。これからは、学んだことを生かして、少しずつ自分の表現を深めていけるよう、頑張っていきたいと考えています。



プロフィール

1994年 中国（山西省大同市）生まれ
2017年 景德鎮陶磁大学卒業
2020年 茨城県立笠間陶芸大学校研究科修了
2021年 柳橋修二氏に師事
2023年 第十六回国際展 日中文化賞受賞
2024年 第十七回国際展 国際芸術賞受賞

対談を終えて

対談は、李さんの自宅で陶芸家である奥様も一緒に行われました。新婚さん宅にお邪魔したわけですが、初々しくも和やかな雰囲気の中、対談は進められました。現在は、新たな作品制作に向けて模索中とのことでしたが、李さんが追求する今までに無いような斬新なフォルムをもった作品が登場することを楽しみにしたいと思います。



主催事業実施経過報告

●ポーセリンペイント陶磁器上絵付け講座

9月8日(火)に1回目のポーセリンペイント陶磁器上絵付け講座を開催いたしました。講師は昨年度に続き、守谷市にある「ポーセラーツ守谷」代表の萩原 恵子氏です。10名の参加者があり、1回目の絵付けを丁寧に仕上げることができました。



今年度の作品

参加者の募集

呈茶会 (会員でない方も参加できます)

日 時：11月13日(金) 茨城県民の日 (入館料無料の日)

10:30、11:30、13:30、14:30、15:30

会 場：茨城県陶芸美術館地下1階オープンギャラリー

募集人数：各席先着10名、5席、予約優先

参加費：1,000円

席 主：谷口 宗貴氏(そうき)(裏千家)

予 約：会員の方／9月11日(金)～11月3日(火)

一般の方／11月4日(水)～11月12日(木)

一般の方と同じ、当日は予約も可。

茨城県陶芸美術館友の会(電話0296-70-0011)

担当/石井、内田まで。



研修視察

友の会の研修視察「～島根鳥取の陶芸と歴史・文化を訪ねる3日間の旅～」は催行人数に達することができなかったため、今年度は中止となりました。次年度は、会員の皆様に魅力ある企画・催行ができるようにしてまいります。今後どうぞよろしくお願い致します。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

- アトリエ・フラスカ (土)(日)(祝日)営業
● 笠間工芸の丘 0296-70-1313
- 10月15日(木)～10月25日(日) 大久保 ありさ 作品展
● 10月15日(木)～10月25日(日)
くりはら工房 栗原 誠・敦子陶展
- 10月28日(水)～11月8日(日) 白川 健一 展
● 10月28日(水)～11月15日(日) 「ひとかたち」
● 11月11日(水)～11月29日(日)
CHWAN 茶碗 ランディー・ウーヅィ
- 11月18日(水)～12月6日(日) クリスマス展
● 12月2日(水)～12月23日(水) 干支展
● 12月9日(水)～令和9年1月17日(日)
ひとにやさしいうつわ展
- 令和9年1月2日(土)～1月17日(日) 穂高 隆児 展
● 1月20日(水)～1月31日(日) 陶芸大学10周年企画展
● 2月3日(水)～2月14日(日)
茨城県立笠間陶芸大学 一年後展
- 2月3日(水)～2月14日(日) かさまの陶びな展
● 2月17日(水)～3月7日(日) 陶芸大学10周年記念企画展
- 笠間みんげい 0296-72-9280
● かつら陶芸 0296-72-6688
● ギャラリー桜 0296-72-0803
● ギャラリー舞台 0296-73-0700
● 笠間焼窯元共販センター 0296-72-5665
● きらら館 0296-72-3109
- 10月6日(火)～10月18日(日)
園部 智子 「みのり たわわ」 作品展
- 10月20日(火)～11月1日(日) 駒澤 博司 作品展
● 11月3日(火)～11月15日(日)
内藤 加奈子・浅野 有希子・高野 江美里 作品展
- 11月17日(火)～11月29日(日)
しのめ窯 鈴木 慎一・鈴木 あかね 作品展
- 12月1日(火)～12月20日(日)
よこみち25thクリスマスマーケット in meets
- 令和9年1月1日(金)～
お正月福袋・ひな人形(～3/3)・干支(～1/31)
- 1月19日(火)～1月31日(日)
栗原 節夫・高橋 勝宏「陶肌共宴Ⅱ」作品展

- 2月2日(火)～2月14日(日)
川田 達哉・川田 敦子 作品展
- 2月16日(火)～2月28日(日)
火音陶房 松下 昇二・松下 知子 作品展

向山窯	0296-72-0194
丹野陶房	0296-72-4028
陶芸館	0296-72-6650
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105
レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る)：年会費(2人で)5,000円

- 特典1** テーマ展、コレクション展が何度でも無料で観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集後記

1990年代、100歳を超えた、きんさん、ぎんさん姉妹が「理想の老後象」と言われ、国民的な人気を誇りました。2001年、108歳で亡くなられるまでその記録は破られませんでした。今年、100歳以上の方が10万人を超えました。個人の努力と共に、科学、医学等の進歩により人は幸せと思える人生をなん歳まで生きられるのでしょうか？

友の会だより No.80

発行：令和8年10月15日

編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345
(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集委員：小栗 和子 鈴木 充 佐藤 誠